

2010年9月3日

## **SAAJ** NEWS RELEASE

### 公開草案「確定給付制度」について意見書を提出

(社)日本証券アナリスト協会(会長:稲野和利 野村アセットマネジメント会長)は、2010年4月に公表された公開草案「確定給付制度」についての意見書を作成し、9月3日(金)に国際会計基準審議会(以下IASB)へ提出しました。

#### 【意見書のポイント】

- ✓ 多くの証券アナリストは年金制度が積み立て不足である場合は、財政状態計算書に適時に反映されるべきであると考えており、公開草案が提案する「数理計算上の差異」の遅延認識の禁止に同意する。
- ✓ 公開草案では、制度資産の価値及び退職後給付債務の変動のうち再測定部分をその他の包括利益(以下OCI)に表示し、リサイクリングしないものとしているが、我々はOCIに表示された金額は純損益へリサイクリングすべきであると考え、確定給付年金への拠出を重要な従業員給付の一部と捉えれば、OCIに計上された「数理計算上の差異」をリサイクリングしないことは、当該給付を資本から直接支払うことに等しくなる。
- ✓ 我々は、年金掛金の拠出を純損益に振り替えるトリガーとすることが適切な方法と考えている。退職給付に関わるOCI累計額がマイナスの場合、企業はいずれ年金基金への拠出によって、このマイナス分を補填することになる。従って、退職給付に関わるOCI累計額がゼロになるまでの期間において、企業から年金基金への拠出の都度、同額をリサイクリングすれば良い。現金の拠出という具体的な取引に基づいているため、実現概念に近い明瞭な基準といえる。
- ✓ 公開草案は資産と負債の純額に優良社債等の利回りを掛けて財務費用を算出するとしているが、我々は従来どおり、統計的な期待値である期待運用収益率を資産に掛けて期待運用収益を算出する処理の方が適当と考えており、この点に関しては山田IASB理事の代替的見解を支持する。IASBは金融資産の減損における期待損失モデルやIAS37号改訂の期待値モデルで統計学的な期待値を用いており、それを当公開草案で用いないのは一貫性に欠ける。

#### 【添付資料】

- 資料1. *re: Comments on Exposure Draft "Defined benefit plans"*
- 資料2. 公開草案「確定給付制度」についての意見書

本件に関するお問い合わせは下記まで  
(社)日本証券アナリスト協会  
電話: 03-3666-1577  
担当: 教育第一企画部長 貝増 眞かいます